



日本プライマリ・ケア連合学会
近畿ブロック支部



発行人：鈴木 富雄
事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A
あゆみコーポレーション内
Tel.06-6441-4918 Fax.06-6441-2055
E-mail jpca@a-youme.jp
HP <http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/index.html>

ニュースレター No.48 (2025.6)

報告：近畿ブロック Start-up meeting 2025 開催

松島 和樹（神戸総合診療・家庭医療プログラム 川崎病院/神戸市）

2025年5月24日（土）に、近畿ブロック Start-up meeting 2025 を開催しました。これまで近畿ブロックでは新専攻医オリエンテーションを年度初めに開催しておりましたが、今年度はそれに加えて、学生・研修医や2年目以降の専攻医にも集まってもらおうと、新たに企画をしました。場所も利便性を考え、グランフロント大阪を使用することにしました。

参加者は71名で、内訳は学生11名、初期研修医5名、新専攻医25名、2年目以降の専攻医9名、多職種1名、指導医20名でした。内容は下記の通りです。

13:30~14:00 開会挨拶、総合診療について（鈴木富雄先生）

14:00~16:00 分科会

C05：新専攻医向け	C06：初期研修医・学生向け	C07：専攻医2年目以上・薬剤師向け
オリエンテーション&交流企画 司会進行：稲岡雄太先生 先輩からのアドバイス 講師：瀬沼創太先生 優秀ポートフォリオ実演 講師：稲葉哲士先生	何が違う？総合診療医の診察室を体感してみよう！ どっちがいいの？総診ファースト or 専門ファースト 講師：川島篤志先生、 合田建先生、柏崎元皓先生	実践！ファシリテーション術 講師：松島和樹先生

16:00~16:30 クロージング 終了後、懇親会

アンケート結果は概ね好評でした。同期や先輩が少ないプログラムの専攻医にとって、こうした交流の機会は重要だ、との意見が多く見られました。一方で、業務などに忙しく取り組む専攻医にとっては、こうした院外活動への参加のハードルが高いのかもしれませんが、専攻医部会などでの取り組みもあり、うまく棲み分けてニーズに応えられればと思います。



特集1：近畿の話題（今回は京都から）

片岡 仁美（京都大学医学研究科 医学教育・国際化推進センター/京都市）

京都大学でのプライマリ・ケア教育について報告したい。本学では以前より医学教育・国際化推進センターが学生教育の中でプライマリ・ケアの教育のコアとなる部分を担ってきた。1年次の5月から始まる早期体験実習では、多職種連携教育を展開し、夏休みにはコロナ禍前には1週間の地域医療の現場での実習を行ってきた。実習の受け入れ先として多くのプライマリ・ケア指導医の先生方にお世話になってきた。コロナ禍によって実習は約3年間完全オンラインとなり、一昨年度に部分的に現場での実習を再開、2024年度からは3年ぶりに全員が現場での実習に取り組んだ。この実習は医学科学生は必修、人間健康学科、薬学部の学生は選択となっているため、多様な学生がチームで実習を受ける場合もある。また、現場での実習後はワークショップを行い、学びを分かち合う時間を設けている。

1年次の実習とともにプライマリ・ケアを学ぶ重要な機会が5年次の臨床実習における地域医療・総合診療の実習である。2週間という時間ではあるが、全員が様々な地域医療、プライマリ・ケアの現場で学び、最終日は大学で学びの振り返りを行っている。様々な地域のそれぞれに特徴のある施設で学んできた学生の振り返りは、総合診療、地域医療、多職種連携、在宅医療、緩和医療などの様々な視点があり、お互いに学びあう貴重な機会である。我々は臨床実習のローテーション毎にアンケートを行っているが、地域医療・総合診療の実習は他の診療科と比較しても大変満足度が高く、学生にとって意義深い内容となっている。これらの実習は地域でプライマリ・ケアを実践している指導医やメディカルスタッフの方の御指導と御尽力の賜物であり、心より感謝している。昨年度から、実習中のサイトビジットを始めており、大学と地域の施設との顔の見える連携の構築を目指している。令和4年度のモデル・コアカリキュラムでも「総合的に患者・生活者をみる姿勢(Generalism)」が新たに追記され、その重要性が強調されている。この項目は地域の施設・指導医と大学の連携が不可欠であり、今後もより一層の教育環境の構築を目指している。

特集2：地方会情報

第38回 JPCA 近畿地方会開催について

川島 篤志（福知山市民病院/福知山市）

春の Start-up meeting を終え、次は学術大会・夏セミ・秋季セミナー…ですが、2025年秋の JPCA 近畿地方会のアナウンスをさせて下さい。

前回は和歌山でオンサイトの開催がありましたが、前々回（2023年秋）のことを覚えておられる方はおられますか？ コロナ禍だから…ではなく、主管の負担軽減目的として、隔年で理事主幹のオンライン開催をはじめた年でした。

そして、2025年秋の第38回 JPCA 近畿地方会もオンライン開催が予定されており、大会長を川島が担当し、実行委員長を稲岡 雄太先生・副実行委員長を石丸 裕康先生にサポート頂き、開催することになりました。日程は11月30日（日）と決定しています。ちなみに2026年の学術大会が大阪医科薬科大学の鈴木富雄先生が大会長で「All 近畿」で盛り上げよう！とされているので、2026年の地方会もオンライン開催にする方向で決定しています。

さて、新年度を迎え、新たな専攻医を迎えるプログラムもあるかと思えます。総合診療プログラム専攻医の方へも学会発表の場として門戸が開かれていますので、是非活用頂ければと思います。Off the Job Training での単位取得も可能ですので、指導医の先生方からのアプローチも期待しています！

今回はオンラインの発表の場だけでなく、早めにHPを開設して専門医プログラムの紹介の場を創るとか、認定薬剤師・看護師の方と緩い交流の場+北近畿の医療者の交流の場をオンサイト（会場は確保：JR 福知山駅前）で開催する準備を進めています（その後、鴨鍋での懇親会も？）。大会長の得意のネタでの全国の専攻医からの参加者も募れるような企画もできればなぁと画策していますが、欲張って破綻しないように気をつけます。

地方会を成功裏で終わらせるには、皆さまの協力が不可欠です。発表や企画への参加を念頭に、まずは日程を空けておいてくださいね！

HPは既に立ち上げています：<https://sites.google.com/view/pckinki38/>

7月から登録開始、演題〆切は8月31日を予定しますので、今から準備をお願いします。

順次、リマインドしていきますので、MLやFBなどのチェックをお願いします！

【参考】「PC 連合学会近畿ブロック」のFBページ <https://www.facebook.com/groups/706823553462579>

報告：JPCA 滋賀県支部第23回指導医FD研修会 開催

JPCA 滋賀県支部第23回指導医FD研修会 開催報告「マルチモビディティ（多疾患併存状態）をバランスよく診る！みんなでマルモカンファレンスをやってみよう！」 by 大浦誠先生

中村 琢弥（医療法人滋賀家庭医療学センター 弓削メディカルクリニック/竜王町）

2025年2月1日に日本プライマリ・ケア連合学会（以下JPCA）滋賀支部の定例学習会の一つとしてFD（Faculty Development 指導者養成の意）研修会が開催された。本会は、マルチモビディティ（多疾患併存状態）の指導について著名な大浦誠先生をお呼びして専攻医や指導医、多職種などを対象とした学びの場を設けた。

マルチモビディティは多疾患併存と訳され、一人の患者が複数の疾患を抱え、その相互関係を意識しながら対応することが大切とされるなど昨今注目を集めている概念である。こちらの会合では、この概念の知識領域をまとめて

学ぶだけでなく、実際の事例を用いながら会場との双方向性のやりとりも交えつつ、参加者全体の状況への対応能力向上につとめていただいた。特に「その患者の個々の情報からどこまでの実情を想像できるか、そのうえでどのようなどころを注力していくか」といった点は強調され、臨床家としての対応する際の視点がより拡張していくような有意義な時間を得ることができるなど非常に盛り上がり、参加者の満足度もとても高いものとなって盛会のうちに終了した。

JPCA 滋賀県支部ではこのようなFD学習会の場を定例開催して、医師やそれ以外の多くの職種への門戸も開きながら、多角的な学習の機会を設けている。他府県の方からの参加機会も今後積極的に考えたいため、ぜひその際にはご参加検討いただきたい。



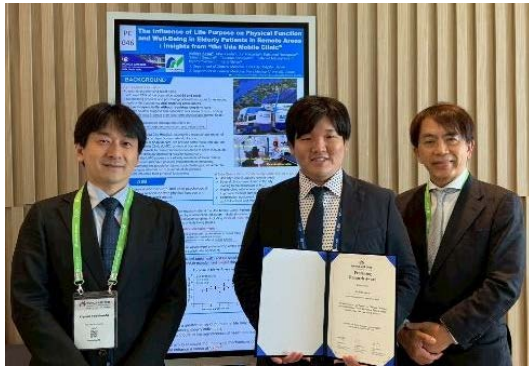
個人活動報告：WONCA APR 2025 Busan 参加報告

佐和 明裕（奈良県立医科大学 総合医療学/橿原市）

2025年4月23日～27日に韓国釜山で開催されたWONCA Asia Pacific Regional Conference 2025に参加いたしました。大阪からは飛行機で1時間半とアクセスの良い開催地であり、日本から多くの先生方が参加されておりました。今回、滋賀家庭医療学センターの専攻医教育を題材としたワークショップの運営に関わらせていただき、参加者との活発な議論から、多くの学びを得ることができました。日常診療や後輩の指導へと還元したいと思っております。なお、私の演題発表として、「高齢者における生きがいと身体機能の関連」について報告し、Promising Research Awardを受賞いたしました。今回の発表に際してご指導いただきました先生方に感謝申し上げます。今後もプライマリ・ケアの実践とその研究に貢献できるよう精進いたします。

また、WONCAにはYDM（Young Doctors' Movements）という若手医師部会があり、その日本代表を現在私が担当しております。WONCA YDMのアジア太平洋支部であるThe Rajakumar Movement主催の若手医師向けプレカンファレンスが、年次学術集会にあわせて毎年開催されます。今年のプレカンファレンスでは、各国の若手医師活

動の報告に始まり、High-value Care やプライマリ・ケア領域の研究テーマに関するワークショップを行い、その後の懇親会では、アジア太平洋の若手医師たちと熱い意見交換を交わしました。来年の WONCA APR は、2026 年 3 月 4 日～7 日にフィリピンのイロイロシティで開催されます。若手医師のみなさま、是非とも YDM プレカンファレンスにも参加をご検討ください。



KPCA 薬剤師ワーキンググループ報告：東近江市永源寺に大人の遠足

中井 希有子（ウエルシア薬局神戸王塚台店/神戸市）

2025 年 6 月 8 日に、KPCA 薬剤師 WG の活動として、近畿ブロック代表の大石和美先生にお招きをいただき、丸山薬局（滋賀県東近江市）とその周辺へ大人の遠足に行きました。参加は 8 名でした。

滋賀県の JR 近江八幡駅で集合し、明治時代に旧彦根藩士族と近江商人が作った私鉄の近江鉄道に乗り換え、万葉あかね線の終点の八日市駅に到着しました。そこで、待機してくれた西井先生（ほたるの薬局/東近江市）と佐々木先生（ウエルシア薬局福知山昭和新町店/福知山市）の車に相乗りして、約 20 分で永源寺の丸山薬局に着きました。

大石先生の案内で、丸山薬局から数分歩き、永源寺診療所と同じ敷地にあるレストランで昼食し、隣接するスポーツジムを見学しました。どちらも永源寺診療所の花戸医師が経営し、レストランのメニュー監修もされていました。スポーツジムはリハビリテーションに限らず、通常のスポーツジムと同様の設備で、だれでもが 1 回 330 円で利用できることもわかりました。病気の診療にとどまらず、地域の方々の栄養や運動も含めて健康にかかわる花戸医師の姿勢を感じることができました。

昼食後は徒歩で丸山薬局に戻り、大石先生が実物を提示しながら日常を説明してくださいました。ワンオペで月 1000 枚の処方箋と 100 人の在宅患者に対応されていること、処方箋と花戸医師のカルテが印刷された紙をお薬手帳に挟んで患者さんたちが来局されること、使わなくなった遮光カーテンを再利用した地域のおばあさんのお手製のお薬袋があること、お薬手帳に販売された市販薬の情報とそのときの指導内容を記載していること、地域のこどもたちが中学 2 年生までに安全に的確に市販薬を購入できるように『薬育』されていることなど、大石先生の日々の活動を知りました。また、薬局内には、市販薬、健康食品、大人のおむつ、寝間着、ハエ取り紙、マッチ、ローソク、熨斗袋に至るまで置いてありました。いかに地域の方々と丸山薬局、大石先生の距離が近いかを感じました。

さらに遠足は続き、戦前は宇治のお茶と並ぶくらい全国的に名を轟かせていた地元の名産「政所茶」の茶畑の近くに、定年後に移住されたご夫婦の営む喫茶店でコーヒーをいただきました。高齢のご夫婦ですが、大石先生と同様に、熱い地域への思いを伺いました。

私にとっては、40 年ぶりの東近江市、八日市、永源寺。新卒から 3 年間、化粧品会社の研究員として過ごした所でした。そのときに食べた抹茶入りの饅頭のお茶が、戦前に有名な「政所茶」であったことを初めて知りました。



帰りは、大石先生と西井先生に近江鉄道八日市駅まで送っていただきました。購入していたワンデイ・スマイルチケット（1日乗り放題）を自動改札でないので、改札口の駅員さんにチケットを見せて帰りの電車に乗り込みました。終点の近江八幡駅では、そのチケットを改札の駅員さんに渡し、各自帰路に就きました。

天候にも恵まれ、パワーと勇気をいただいた永源寺への大人の遠足でした。

お知らせ：今年度も KONPass を持って研修を乗り切ろう！

長 哲太郎（コープおおさか病院 OCGFP/大阪市）

近畿ブロックでは、毎年度ごとに、専攻医および指導医向けに研修サポートをする有料サービス（KONPass : Kinki Official Navigation Passport）を用意しています。

<https://konpass2025.peatix.com/view>

パスポート購入者は近畿ブロックのイベント参加、近畿ブロックの教育資料、歴代優秀ポートフォリオへのアクセス、コミュニティの加入、オンライン指導の特典がつきます。年会費は 3000 円と大変お得な内容になっています。

購入特典：

○三大イベント参加

- ・春のスタートアップ（2025年5月24日）
- ・定期的なポートフォリオブラッシュアップ
- ・冬のポートフォリオ発表会（2026年2月頃）（通常は2000円のところ無料に！）

○教育動画コンテンツへのアクセス

○特別なコミュニティへの加入（Slack）：ポートフォリオ記載における文献リストなど

○バーチャル医局を用いたオンライン指導

今年度も、KONPass を持って、研修の荒波を乗り越えていきましょう！

ポッドキャスト

●近畿ブロックのレジェンドたちのライフヒストリー&感動秘話

- # 1 石丸裕康先生
- # 2 木戸友幸先生
- # 3 中山（畔田）明子先生
- # 4 雨森正記先生
- # 5 鈴木富雄先生
- # 6 松井善典先生
- # 7 竹中裕昭先生
- # 8 三澤美和先生
- # 9 専門研修をはじめたばかりの3人の専攻医
- # 10 吉本清巳先生、および第35回近畿地方会の実行委員会のみなさま
- # 11 大島民旗先生、川島篤志先生、稲岡雄太先生（第36回近畿地方会大会長他）
- # 12 武田以知郎先生
- # 13 廣西昌也先生、梶本賀義先生 第37回近畿地方会 in 和歌山
- # 14 角田秀樹先生 米国研修便り



<https://podcasts.apple.com/gb/podcast/legend-of-gp-in-kpca/id1583573369>

をゲストに迎え、順調にポッドキャスト収録が進んでいます。

ぜひ一度お聞きください。

その他

●代議員会開催

2025年度は7月6日開催予定です。

●2025年度ドクター体験プロジェクト始動！

今年の夏も、プライマリ・ケアに触れたい医学生さん向けのドクター体験プロジェクトを実施します。6月18日時点で、26医療機関から「受け入れ可能」としてもらっており、多くの学生にとって、熱い夏になるのではないかと今から楽しみです。ご協力いただいた先生方本当にありがとうございます。

ニュースレター編集委員大募集！！

朝倉 健太郎（大福診療所／桜井市）

近畿ブロックニュースレター編集部では、近畿ブロック支部や各府県支部の取り組み、会員のみなさまの近況などを中心に編集作業に取り組んできました。

3ヶ月毎、年4回の発行を行っており、本誌2025年夏号は48号にあたります。

引き続き、様々な立場、役割を担っている会員のみなさまの活動を幅広く取り上げていくことができると考えております。

ニュースレターの編集にご興味のある方、一緒に面白い記事を作成してみようかなと思った方は、編集部 kentaroasakura@gmail.com 朝倉 までご一報下さい。

[支部からのご連絡] **ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております！**

近畿ブロック支部・各府県支部・公認グループ活動のホームページが更新されました！

<http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/> 是非、アクセスしてみてください。

(学会トップページ <http://www.primary-care.or.jp> 上部メニュー「講演会・支部活動」から)

→ 詳細は、上記ホームページをご参照願います。

ホームページ担当：梶原信之

編集後記

今年は急に暑くなったと思えば、6月中旬にもかかわらず35度近い猛暑日ということで、夏本番になるとどうなるのだろうと戦々恐々とする日々です。

ただ、こうして寄せられた記事を読ませてもらうと、「みなさま素晴らしい！」と夏の暑さにも負けずに、日々頑張ろうと思えるのが、このニュースレターの不思議な力です。

まだまだ夏は始まったばかりですが、ニュースレターが一服の清涼剤となり、会員の皆様が健やかに過ごされることをお祈りして（担当C）